

2021年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年9月29日

上場会社名 J-ピープル
 コード番号 7865 URL <https://www.people-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 桐渕 真人
 問合せ先責任者 (役職名) IR担当 (氏名) 飛田 留美子
 四半期報告書提出予定日 2020年9月30日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3862-2768

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年1月期第2四半期の連結業績(2020年1月21日～2020年7月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第2四半期	1,880	12.8	123	60.0	114	55.3	80	68.4
2020年1月期第2四半期	1,667	△1.9	77	△22.9	73	△24.2	47	△23.1

(注) 包括利益 2021年1月期第2四半期 76百万円 (29.9%) 2020年1月期第2四半期 58百万円 (△17.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第2四半期	18.18	—
2020年1月期第2四半期	10.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第2四半期	2,300	1,956	85.0
2020年1月期	2,441	2,046	83.8

(参考) 自己資本 2021年1月期第2四半期 1,956百万円 2020年1月期 2,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2021年1月期	—	0.00	—	—	—

(注) 2021年1月期期末配当につきましては、通期連結業績見通しと連動し、年末商戦状況を見極めた上で勘案し、発表させていただきます。

3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年1月21日～2021年1月20日)

2021年1月期第3四半期累計期間の連結業績予想(2020年1月21日～2020年10月20日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	3,153	13.1	279	19.9	268	17.9	183	18.1	41.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の通期連結業績は、年末商戦期間(10～12月)の業績に大きく左右されます。本来通期業績予想を掲げるべきではありますが、このような玩具市場の特性に鑑み、直近で見通せる次期四半期の予想を掲げさせていただいております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年1月期2Q	4,437,500 株	2020年1月期	4,437,500 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年1月期2Q	63,279 株	2020年1月期	63,279 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年1月期2Q	4,374,221 株	2020年1月期2Q	4,374,247 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
【第2四半期連結累計期間】	5
四半期連結包括利益計算書	
【第2四半期連結累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
【第2四半期累計期間】	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	8
カテゴリー別販売の状況	8
①第2四半期連結累計期間売上高	8
②新発売商品及び主なりニューアル商品	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症拡大によって、国民生活、企業活動等に深刻な打撃を受けました。わが国において4月に発表された緊急事態宣言は5月に解除され、経済活動は再開されているものの感染拡大の収束が見えない等、先行きは不透明な状況が続いています。

このような経済環境のなか、当社グループは、取引先様や従業員の安全と健康に配慮した感染予防策の実施を最優先にしつつ、できる限り消費者の期待に添える商品提供が実施できるよう、事業活動を進めて参りました。

商品仕入においては、一部、材料調達の遅延や工場の人員不足による製造遅延等も生じましたが、次第に正常化し、需要に沿った供給が可能となりました。それに伴い、インターネットを中心とした販売の増加、および5～6月に順次商業施設等が再開し出したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は、18億80百万円の前年同期比12.8%増となりました。

コスト面については、感染症対策の継続で集客を伴う販促イベント活動等は中止を余儀なくされ、また特段多額の費用発生も生じなかったことから、販売費及び一般管理費は前年同期を下回りました。

以上の結果、営業利益は1億23百万円の前年同期比60.0%増、経常利益は1億14百万円の55.3%増、親会社株主に帰属する四半期純利益は80百万円の前年同期比68.4%増となりました。

(カテゴリー別の概況)

・乳児・知育玩具

コロナ禍において室内遊びとして需要の高まっている構成玩具「ピタゴラスシリーズ」は既存品ラインナップに加えて、5月度に発売した「ピタゴラスBASIC 知育いっぱいどうぶつえん」(5,000円)、「ピタゴラスWORLD とけいハウス」(6,000円)「ピタゴラスWORLD クレーンビルディング」(6,000円)などの新製品が新たに消費者を捉え、売上に結びつきました。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う店舗休業等で苦戦を強いられていた「ノンキアラ良品シリーズ」なども6月以降の店舗再開に伴い、売上は少しずつ回復に向かい始めました。定番の知育玩具「やりたい放題ビッグ版」(5,300円)なども夏季商戦に向けたチラシアイテムとして流通の期待を集めており、売上に繋がっております。

一方、「純国産お米のおもちゃシリーズ」は回復傾向にあるものの、依然インバウンド需要の落ち込みをカバーできない状況が続いておりますが、お米とプラスチックを融合させたバイオマス素材を利用した玩具として、将来を見据えて期待を持っております。

・女兒玩具

抱き人形「ぼぼちゃんシリーズ」においても店舗再開の6月以降、回復傾向を見せており、「赤ちゃんぼぼちゃん」(5,300円)などのお人形に加えて、「2階だてぼぼちゃん家」(6,500円)や「お買い物ベビーカー」(4,580円)などのお道具が、お人形ユーザーにより積極的に買い足しがされている傾向が見えています。

・遊具・乗り物・その他

外出自粛明け以降も、遊具・乗り物カテゴリーは引き続き予想以上の好調な売行きで、定番の「白いわんぱくジム」(19,800円)や「ケッターサイクル」(各種オープン価格)は欠品と供給を繰り返しながらも前年を大きく超える出荷となり、当四半期の売上増に大きく貢献しました。

また、育児・家具カテゴリーにおいて、6月度より大手法人での先行発売となったベビーバス用品「ラッコハグ」(3,980円)は、SNS上での人気に加えて、取り扱い店舗でもおすすめアイテムとして店頭にて積極的に売り場展開されるなど、“人気のベビーバス用品”として注目されています。

・海外販売

海外販売では、主要の米国向け「Magna-Tiles」シリーズは、四半期対比では出荷調整となった前年同期間に対して当四半期はまとまった出荷となったため、前年同期を大きく上回る売上高となりました。また、米国以外の既存取引先でも店舗再開とともに消費促進に向けて一気に動き出し、前年同期を超える売上高となりました。

注) 上記文中()内に記載の商品価格は、税別標準小売価格です。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末から1億41百万円減少の23億円となりました。資産の部では、主に配当金及び法人税等の支払による現金及び預金の減少等で、流動資産が前連結会計年度末から1億35百万円減少し20億14百万円となりました。

負債では、流動負債で主に未払法人税等の減少により、負債合計で前連結会計年度末から51百万円減少し、3億44百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上的一方、配当支払等により、前連結会計年度末より90百万円減少し19億56百万円となり、結果、自己資本比率は85.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より1億62百万円減少し12億33百万円となりました。主な要因は次の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を計上の他、主に売上債権の増加、当四半期末入荷に伴うたな卸資産の減少、法人税等の支払等の結果、38百万円の収入となりました。(前年同期間は66百万円の収入)

投資活動によるキャッシュ・フローは、金型等固定資産の取得により37百万円の支出となりました。(前年同期間は52百万円の支出)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払により1億65百万円の支出となりました。(前年同期間は2億71百万円の支出)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(次期第3四半期連結累計期間業績予測)

新型コロナウイルスの感染拡大の収束は未だ不透明であり、年末商戦に向けた流通の動向も、上半期に好調な動きを見せた商品群を早々と年末シーズン前に確保する等、例年とは異なることも予想されます。そのため、売上高は第3四半期累計期間も前年同期間を1割程度上回る見込みでおります。費用面では、対面での販売促進イベントや調査等の活動が引き続き制限を受けること等を見込み、営業利益は前年同期間比で2割近い増益となる見込みです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年7月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,395,475	1,232,925
受取手形及び売掛金	336,478	368,379
商品	408,162	332,639
原材料	1,669	5,880
その他	7,434	74,796
貸倒引当金	△635	△697
流動資産合計	2,148,583	2,013,924
固定資産		
有形固定資産	68,507	57,015
無形固定資産		
その他	20,317	35,584
無形固定資産合計	20,317	35,584
投資その他の資産	203,356	193,016
固定資産合計	292,180	285,616
資産合計	2,440,762	2,299,539
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	186,579	151,126
未払法人税等	79,221	32,692
その他	128,777	160,033
流動負債合計	394,576	343,850
負債合計	394,576	343,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,615,452	1,528,752
自己株式	△34,267	△34,267
株主資本合計	1,982,690	1,895,990
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,801	57,378
為替換算調整勘定	695	2,320
その他の包括利益累計額合計	63,496	59,699
純資産合計	2,046,186	1,955,689
負債純資産合計	2,440,762	2,299,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月21日 至 2019年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月21日 至 2020年7月20日)
売上高	1,666,604	1,879,973
売上原価	1,022,985	1,208,187
売上総利益	643,619	671,785
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	74,802	114,415
販売促進費	61,793	32,564
運賃	74,944	73,385
役員報酬	32,903	31,653
給料及び手当	88,763	68,055
退職給付費用	6,494	7,129
支払手数料	49,794	49,798
研究開発費	81,330	89,148
その他	95,716	82,346
販売費及び一般管理費合計	566,538	548,494
営業利益	77,081	123,291
営業外収益		
受取利息	57	19
受取配当金	1,981	1,747
その他	99	284
営業外収益合計	2,137	2,050
営業外費用		
為替差損	5,733	11,236
その他	0	1
営業外費用合計	5,733	11,237
経常利益	73,485	114,105
税金等調整前四半期純利益	73,485	114,105
法人税、住民税及び事業税	17,678	28,301
法人税等調整額	8,594	6,282
法人税等合計	26,272	34,584
四半期純利益	47,213	79,521
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,213	79,521

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月21日 至 2019年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月21日 至 2020年7月20日)
四半期純利益	47,213	79,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,661	△5,422
為替換算調整勘定	419	1,625
その他の包括利益合計	11,080	△3,798
四半期包括利益	58,293	75,724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,293	75,724

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月21日 至 2019年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月21日 至 2020年7月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	73,485	114,105
減価償却費	23,560	29,913
売上債権の増減額 (△は増加)	89,651	△31,902
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△64,139	71,311
仕入債務の増減額 (△は減少)	45,248	△35,453
その他	9,658	△38,975
小計	177,464	108,999
利息及び配当金の受取額	2,038	1,767
法人税等の支払額	△113,245	△72,884
営業活動によるキャッシュ・フロー	66,258	37,881
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,838	△18,984
無形固定資産の取得による支出	△650	△17,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,488	△36,544
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△271,332	△165,514
その他	294	253
財務活動によるキャッシュ・フロー	△271,038	△165,262
現金及び現金同等物に係る換算差額	410	1,628
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△256,858	△162,297
現金及び現金同等物の期首残高	1,550,355	1,395,090
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,293,496	1,232,793

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大及び4月の緊急事態宣言の発令などにより、当社グループでは、営業体制の一部縮小や取引先量販店等の業務自粛等の影響を受けましたが、5月に緊急事態宣言が解除され、量販店等の営業も順次再開に向かいました。

しかし、経済活動再開はされつつも、集客のための販売促進イベント等の実施には未だにリスクを鑑みて延期・中止をせざるを得ず、感染拡大前の水準まで回復するには年内までの期間を要するものと想定し、繰延税金資産の回収可能性の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. 補足情報

カテゴリー別販売の状況

① 第2四半期連結累計期間売上高の前年同期対比

(単位 千円)

カテゴリー名	2020年1月期 第2四半期 (自2019年1月21日 至2020年7月20日)	2021年1月期 第2四半期 (自2020年1月21日 至2020年7月20日)	前年同期比 (%)
乳児・知育玩具	559,484	535,290	95.7
女兒玩具	136,740	152,470	111.5
遊具・乗り物	251,313	371,127	147.7
その他	58,987	51,339	87.0
海外販売	660,080	769,747	116.6
合計	1,666,604	1,879,973	112.8

② 新発売商品及び主なりニューアル商品

カテゴリー名	商品名	標準小売価格 (税別)
乳児・知育玩具	「頭が良くなるビール缶」	¥680
	「集中しすぎてゴメンなさい」	¥680
	「ピタゴラスWORLD とけいハウス」	¥6,000
	「ピタゴラスWORLD クレーンビルディング」	¥6,000
	「ピタゴラスBASIC 知育いっぱいどうぶつえん」	¥5,000
	「うちの赤ちゃん世界一 ニギユッテケッテ」	¥4,280
女兒玩具	ハピエンスシリーズ「ぬりぬりコスモ」	¥2,980
	同 「マジカル・ピアノ」	¥2,980
	同 「アニメライト」	¥2,980
	同 「あっちこっち! ロジコ」	¥7,280
	「ぼぼちゃんのアウトドアワゴン」	¥4,980
	「うちでた?ぼぼちゃんのおむつ替えごっこ おしりふきつき」	¥1,000
	「ぼぼちゃんのおしゃべりたこ焼きセット」	¥1,980
遊具・乗り物	「360° 知育ベビードーム」	¥5,000
	ケッターサイクル専用別売パーツ3種	
	「ケッターサイクル専用泥よけセット」3色	オープン価格
	「ケッターサイクル専用バスケット」3色	オープン価格
その他 (育児用品等)	「キッズサイクルカバー」	オープン価格
	「ラッコハグ」	¥3,980
	「Bebe Pocket プレミアムメッシュ ブラック」	¥4,300